

令和7年度 とうきょうすくわくプログラム 年間計画書

【テーマ】

命

【テーマを設定した理由（子どもの）】

子どもが図鑑を見て魚に興味を持ち始めた頃に保護者からメダカの卵を頂き、子どもたちが「メダカは何を食べるのか、どんな所にいるのか」調べ環境を整え飼い始めた。メダカの成長や特性に興味を持ち、命の不思議さ面白さなど更に興味を深めたいと思う。

【対象クラス・対象人数】

3歳児 15名

【テーマ実施期間・回数】

令和7年6月～令和8年3月 月1～2回

【ねらい・内容】

- ・メダカに興味を示し観察をする。→メダカは何を食べるのか、どんな所にいるのか。
- ・メダカの成長や特性に興味を持ち、命の不思議さ面白さなど更に興味を持つ。

【保育者の思い】

- ・魚や動物、虫にも命があることを知り、大切にすることを育んでほしい。
- ・近くで小さな魚の動きなどを観察して興味を示し自然にも目を向けて様々な発見をする子になってほしい。

【活動スケジュール】

	6月	12月	3月
子どもたちのイメージを聞き出すための問い	どんな所に卵を産むのか。 メダカの卵はどのくらい小さいのかな。・赤ちゃんメダカは何を食べて大きくなるのかな。	寒くなってきたときのメダカの動き。夏との違い。「みんなは寒いと外で動かなくなることある？メダカさんも寒いつて感じるかな？冬はどうやって寒い水の中で過ごすかな？」	メダカの図鑑を見て卵の話聞いてみる。 どうやって、どこに卵を産むのか？
環境をデザインする（素材や道具、環境）	水槽やメダカが好む環境を子どもたちが考え揃えていく。	めだかの水槽は凍るか？凍るのであれば何が必要かを子どもたちと相談して考えてそろ	メダカが産卵できるように水草や、それに代わるものを調べて相談しそろえていく。

		えていく。	
記録（写真・映像など）	水槽に光を当てたり写真や映像をプロジェクターで観察し気づきを話し合い、命の不思議さや特徴をドキュメンテーションで記録する。	水槽内のメダカの動きの変化、子どもたちの言葉などを写真、動画で記録していく。	卵がついているかをのぞく子どもたちの様子を写真や動画で記録していく。
振り返り・共有方法	活動をした時や、朝の会、日中などで子どもたちとドキュメンテーションなどを見ながら振り返りを行っている。職員については日頃のドキュメンテーション、カリキュラム会議などで報告、振り返りを行っている。保護者については、HP,園だより、クラスだより、日頃のドキュメンテーション、部屋への掲示などで周知する	室内のメダカ、外にいるメダカの違いを映像などで見て違いを知る。前回飼い始めた時と、どのように変化したかを話し合う。職員については日頃のドキュメンテーション、カリキュラム会議などで報告、振り返りを行っている。保護者については、HP,園だより、クラスだより、日頃のドキュメンテーション、部屋への掲示などで周知する	卵はいつごろ見つけたか。どこについていたのか。自然のメダカはどこに産卵するのかをプロジェクターなどを使用しながら、買い始めた時からの変化、気づきを振り返っていく。職員については日頃のドキュメンテーション、カリキュラム会議などで報告、振り返りを行っている。保護者については、HP,園だより、クラスだより、日頃のドキュメンテーション、部屋への掲示などで周知する